

令和4年度第3回江東区みどりの基本計画推進会議 議事録

日 時	令和5年3月17日（金）14：00～16：00
場 所	江東区文化センター3階 第4、5研修室
出席者	<p>〈委員〉</p> <p>島田 正文 （一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問） 柳井 重人 （千葉大学 大学院園芸学研究院 教授） 櫻井 節子 （北砂4・7丁目町会） 矢部 正治 （公募区民） 葭葉 抄子 （公募区民） 早川 鋭 （NECソリューションイノベータ株式会社） 渡部 陽介 （清水建設株式会社 技術研究所） 美濃又 哲男 （みどりネット Koto 代表） 須永 淑子 （NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長） 中村 和弘 （豊洲小学校校長）</p> <p>〈委員（区職員）〉</p> <p>杉田 幸子 （土木部長） 大塚 尚史 （企画課長） 谷川 寿朗 （営繕課長） 加川 彰 （地域振興課長） 鳥井 将弘 （保育課長） 関戸 佳子 （温暖化対策課長） 立花 信行 （都市計画課長） 大野 俊明 （道路課長） 清田 光晴 （河川公園課長） 召田 和也 （施設保全課長） 西尾 基宏 （学校施設課長） 飯塚 雅之 （指導室長）</p> <p>〈事務局〉 管理課：伊藤（管理課長）、吉木、中村、松井</p> <p>〈同席者〉 平野 智也 （NECソリューションイノベータ株式会社）</p>
次第	<p>議題</p> <p>(1) 各事業進捗について (2) みどりの活用事例（計画以外）について (3) 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告 (4) コミュニガーデン事業の活動要件変更について (5) その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 名簿 ・ 資料1：令和4年度 重点プロジェクト事業進捗管理表 ・ 資料2：令和4年度 事業進捗管理表

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3：令和4年度のみどりの活用事例（計画以外）について ・資料4：江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告 ・資料5：コミュニティガーデン事業の活動要件変更について ・参考1：令和4年度 重点プロジェクト取組状況 ・参考2：令和4年度 各施策取組状況 ・意見等回答様式
--	---

開会

注意事項及び連絡事項

事務局

（注意事項説明）

本日の出席者について、委員である NEC ソリューションイノベータの早川委員より、人事異動の関係で推進会議に出席いただく方が変更になるとの申し出があった。本日は引き継ぎの関係上、後任である平野様の同席が希望された。本会議設置要綱では、会長が必要であると認めるときに限り、委員以外の者の出席を認めることができるとの規定があるため、このことについて会長に出席の可否をご判断いただきたい。

また、会議の傍聴についてだが、本日傍聴希望はなかった。

会長

NEC ソリューションイノベータの平野様の同席について、ご了承いただけるか。

（意見等なし）

ご了承いただいたので、同席を認める。

議題1 各事業進捗について

会長

それでは議題1 各事業進捗について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

（資料1、資料2、参考1、参考2説明）

会長

所管されている部局の皆様にご尽力をいただき、令和4年度の重点プロジェクト及びそれ以外の事業については、休止もあるが、概ねA評価となっている。その他のところでC評

価が3つあるが、それぞれの事情がありCとなっていると思う。ここに出ているABC評価は自己点検評価であり、推進会議が第三者評価となるため、皆様より疑問やご意見をいただきたいと思う。

副会長

全体像が見えた。区民、企業の方々と色々な活動をしている様子が反映されている報告があったと思う。

参考1の安全安心なまちづくりプロジェクトの中で、緑化助成実績が0件とあるが、資料1、2ではどこに該当するのか。

事務局

資料1、2のみどりのまちなみづくり事業に該当する。

副会長

助成はできていないが、準備はしているためA評価となっているのか。

事務局

その通りである。

副会長

区としては、準備をして申請を待っていたということだと思うが、実態として0件ということは、その分析をするべきだと思う。そもそもニーズがないのか、ニーズはあるがそれに合致した助成の内容や仕組みができていないのか、または広報などの問題なのか、いくつか理由があると思う。0件ということは、この事業が必要ないという話にもなりかねないと思うので、しっかりと現状の原因を検証すべきと思う。

事務局

今年度は何度か現地に伺い、助成金の申請について相談を受けている。広報や制度の使いづらさについて課題を感じている。たとえば、みどりを増やすという目的から、ある程度のボリュームを確保する必要がある、緑化延長は最低2m以上などの基準を設けている。ご相談いただく敷地は必ずしも広いわけではないため、その部分で使いづらさを感じている。また、助成金の手続きでは様々な書類が必要となり、手続きの手間が使いづらさになっていると感じている。使いづらさへの対応としては、令和2年度に要綱を改定し、生垣等に加えて花壇・菜園に対しても助成対象としたが、令和4年度は0件という実績となっている。

副会長

この助成は、緑化指導との関連はあるのか。

事務局

250㎡以上の敷地で緑化指導の対象となる物件については、緑化の義務が生じるため助成の対象としていない。ただし、250㎡以上の敷地であっても、義務以上の緑化を行う場合には助成の対象としても良いのではといった議論は出てきている。引き続き、広く検討をしていきたいと考えている。

委員

弊社が行っている清掃活動の中で、台風後に落ちている枝や剪定枝の処理に困っている。資料の中では、公園などで剪定した枝から、つちひめを作る事業についてご説明いただいたが、剪定枝の持ち込みやアダプト制度で清掃したごみと一緒に回収してもらうなどの連携はとれないか。

委員

区内の公園や道路で剪定した枝を潮見の施設に持ち込んでチップ化などを行っている事業である。作ったチップを公園などに撒いてリサイクルしているが、現状はチップを撒く場所が年々減っており、受け入れも調整しながら運用している。枝の持ち込みや回収については、いろいろなやり方があると思うが、公園や道路で出た枝に関しては、区へ連絡いただければ、回収することは可能である。

委員

つちひめは環境フェアで配ると大変人気であるため、是非、有効活用していただきたい。

会長

緑化助成については、予算が使われないと庁内で議論的になってしまうため、上手く活用できるようにいろいろと作戦を立てていただきたい。他自治体の話ではあるが、実家のブロック塀を撤去するために助成制度を利用した際、手続き書類の作成は大変だったが、手取り足取り教えていただき、非常に助かった。

議題2 みどりの活用事例（計画以外）について

会長

それでは議題2 みどりの活用事例（計画以外）について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

(資料3 説明)

委員

みどりネット Koto ではコミュニガーデン活動の方々と一緒に活動しているが、コミュニガーデンの発展として、地域の方々と連携を取りたいと考えている。説明にあったように様々な児童館が活動されているので、関りを持ちたいと考えている。是非、こども家庭支援課とお話しさせていただく機会を設けていただけないか。

事務局

こども家庭支援課と調整させていただく。

議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

会長

それでは議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告について、部会長より説明をお願いしたい。

委員

(資料4 説明)

3月14日に行った第16回の部会では、部会員から7つの課題の一つである生物多様性に関する課題を部会で取り上げたいとの話があったため議論した。その中で、生物多様性地域戦略を策定することは、みどりの基本計画を推進するためにも必要であるとの話があった。前回の推進会議では、来年度末を目途に部会から推進会議に提案などができることと良いとの話があったが、提案の中に生物多様性に関する内容も入れさせていただきたいと考えている。お配りした「生物多様性フェア2022」という冊子は、昨年7月に実施した生物多様性フェアの内容をまとめたものである。部会に参加いただいている方々が所属する団体や区の関係課にもご参加いただいたので、是非ご覧いただきたい。

副会長

部会の活動が月に一度行われていることに毎回驚いている。推進会議では、議論はできるが推進することがなかなか難しいため、部会の活動が推進力となっていくことが重要なことだと思う。やはり、活動の成果をどのようにCIGの推進に繋げていくのかを考えなくてはならない。前回の推進会議では、部会からの提案を推進会議で整理する話をしたが、その提案を積極的に施策の中に取り込んでいけるような取り組みができないかと思う。また、東陽地区におけるマップの作成についてだが、良くすべき場所や良くできる場所を整理し

たマップを作っていくという理解でよいか。

委員

そのような形になると思う。

副会長

通常はウォークアブルマップなどにまとめていくと思うが、今回のようなマップを作成するのであれば、提案を含んだものになると思う。みどりの基本計画の中では、地区別計画を定めているため、そこに反映させていくような仕組みができると良いのではないか。地区別計画は作成した時の課題などが抽出されているが、今回のマップづくりで、多くの方々が参加し、出てきた区民の実感として良いなと思うところを地区別計画に照合していくことが大事ではないか。計画で定めたから変えないではなく、このような活動のストックを生かし、計画に何かを足したり、引いたりすることができないかと思う。

委員

地区別計画をアップデートしていくということは非常に重要であると感じている。生物多様性についてもそうだが、グリーンインフラなども計画ができた後や同時並行で進んでいたものをどのように計画に反映するかということが企業としても重要であると思う。企業緑地についても、企業単体では難しくなっている印象があり、官民学が連携する中で社会に対するインパクトをどのように与えられるかということが、企業の経営や ESG 投資の中でも求められてきている。このような事由にうまく対応できる仕組みがあると、企業としてはありがたい。

議題4 コミュニガーデン事業の活動要件変更について

会長

それでは議題4 コミュニガーデン事業の活動要件変更について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

(資料5 説明)

委員

要件の変更とは、要綱を変えたということによろしいか。

事務局

その通りである。江東区みどりのボランティア活動支援要綱の中では、コミュニガーデンの他に田んぼの学校活動とポケットエコスペース活動についても定めているが、今回の要件変更に伴っては、コミュニガーデン活動の部分のみ要綱を改定している。

委員

要綱はホームページで見ることができるのか。

事務局

見ることができる。

会長

江東区は区民活動が活発であるため、このような変更は良いと思う。引き続き、行政も区民活動を応援していただきたい。

副会長

在勤、在学については、要綱に明文化せずに、「在住等」に含むという認識でよろしいか。大学や企業でも熱心にやっているところが多いため、そこにアピールできると良いと思う。

事務局

資料5では「在住等」としているが、要綱の中では在勤、在学についても明文化している。引き続き、皆様のご意見を伺いながら検討していきたい。

議題5 その他

会長

生物多様性地域戦略についてお話したいと思う。江東区は名古屋で開催された COP10 の時から区民や活動団体が生物多様性チーム江東を作り、活動してきたのはご承知の通りである。コロナの関係で延期されていた生物多様性国家戦略が年度内に環境省から出されることになっている。大きな点は、昆明・モントリオールの会議を経て、生物多様性枠組みが示されており、2030 ターゲットや 2050 ビジョンなど中長期の計画が出ていることである。そこには国がすべきことや地方自治体にやってほしいことなどが示されているが、国と違い地方自治体は生物多様性地域戦略を策定することが義務ではない。多くの都市では、単独で地域戦略を立てるか、緑の基本計画や環境基本計画に入れ込む形に分かれている。江東区みどりの基本計画では生物多様性について記載しているが、計画立案時に生物多様性地域戦略は環境分野の仕事であると話があったため、触れる程度にしている。現在は 2030

ターゲットや 30by30、OECM など様々な目標や取り組みがなされている。港区では生物多様性地域戦略を区として策定している。江東区環境基本計画には江東区みどりの基本計画から抜粋した形で生物多様性の記載があるが、そうではなく、江東区には生物多様性地域戦略そのものに本腰を入れて取り組んでいただきたい。みどりの基本計画と重複する箇所はみどりの基本計画に持っていても構わないが、主流ではない。生物多様性と地球温暖化は表裏一体である。これを上手くセットで進めると良いのではと期待している。2030 ターゲットは 7 年後をターゲットとしているため、数的目標などは行政の計画で定めること良いと思う。外から見る限り、環境基本計画の見直しもある温暖化対策課が柱になると勝手に思っているが、庁内でよくご相談いただき、是非、区民のためにご尽力いただきたい。

委員

先程、数値目標のお話もあったが、生物多様性チーム江東で作成した生物多様性地域戦略市民案には数値目標も盛り込んでいる。区民が作っているものであるため根拠は無いが、こうなると良いという目標になっている。一般の方から見ると生物多様性は、希少種や絶滅危惧種、外来種などいわゆる生物の話であり、生き物が好きな人がやっているものと認識されているように思う。しかし、地球規模で生物多様性を考えると、都市の住民の消費行動が非常に大切になっている。江東区には 50 万人の区民が暮らしているが、その区民の方々がどのような意識で生活していくかは、今の時代に生きる人間の一人として求められることだと思う。そのようなことを伝えていくために、区として地域戦略を立てていただきたい。区役所がやらないと様々なことが始まらないと思うので、是非進めていただきたい。

委員

生物多様性地域戦略は環境基本計画とみどりの基本計画のどちらに組み込んでもよいが、単発で地域戦略を作れると良いと思う。野球選手がプライベートジェットで移動していたが、こういった方が飛行機を一機飛ばすだけで多くの二酸化炭素を出すことを認識し、環境に対して意識を持てば、多くの方にアピールする方法が広がると思う。

副会長

生物多様性というと保全の話になるが、生物多様性フェア 2022 を拝見すると、浅草海苔の養殖実験を行うなどの記載がされており、これは生物多様性をベースにした生態系サービスの話であると感じた。生き物による恵みや生物多様性による恵みというのは私たちの生活の基盤となる。生物多様性の話になると希少種や外来生物をどうするのかといった話になりやすいが、身近なところにあることを伝えることが普及啓発になる。また、いくつかの区で生物多様性地域戦略を取り上げた環境基本計画の策定に携わったことがあるが、環境基本計画の中で行うと生物多様性の専門家が集まるのが難しく、薄まった作りになってしまうため、独立して地域戦略を作ることが一番はっきりしていると思う。生物多様性

地域戦略は、区内の生物多様性のホットスポットを保全し、それをつなげていくといった空間的な計画論がなんとなく書いてあるものが多い印象を受けている。地域戦略をしっかりと作る中で、空間計画を反映させていくことやみどりの基本計画なり、都市計画マスタープランとリンクしているようになると良いと思う。

会長

藤沢市は地べたに関連させた計画を策定している。特に自然環境と社会環境、経済環境は横串で刺して、関連づけていかなければ解決できない。そのためには社会改革が必要となり、すぐには難しいが、やれるところからやるべきと思う。繰り返しになるが、生物多様性と地球温暖化は表裏一体であるため、是非取り上げてもらいたいと思う。

委員

今後への期待としてだが、みどりの基本計画の対象エリアは夢の島や豊洲、新木場など、私の生活圏外になる場所が多いと感じた。CITY IN THE GREEN はみどりの中にあるまちで暮らしているイメージなので、夢の島などの成功事例をより多くの人が生きているエリアに持ち込んでいただきたい。また、普段の生活の中で、ここにみどりが増えたら良いなど感じた時に、区に対してどのように意見を上げたら良いのか教えていただきたい。

事務局

1点目のご意見についてだが、実態として緑被率などを見ても臨海部に比べて内陸部の方が低い傾向にある。要因としては、内陸部では大規模な建て替えが少なく、緑地を埋めるスペースが限られていることがあげられる。それに対しては、コミュニティガーデンを広げていくことや民地の軒先に展開していくことが考えられる。また、管理課としては、豊洲で活動いただいているサイクル型のみどりの増やし方をどこかで展開していけたらと考えている。内陸なりのみどりの増やし方については、引き続き検討していきたい。2点目のご質問への回答としては、推進会議や部会での発言が行政の施策に反映しやすいことやコミュニティガーデン活動などの地域活動に参加いただき、その場で行政職員にお伝えいただくことが考えられる。また、地域の方や町会と意見を合わせて行政にあげていただけると計画の改訂時に地域の課題として盛り込むような展開はできるのではないかと考えている。

委員

日常的な要望はどのように区へ伝えたら良いのか。たとえば、みどりの基本計画を推進する中で、定期的に地域の方の意見を聞く機会がもう少しあっても良いのではないかと。

事務局

管理課を含めて、フランクな形でご意見をいただけるシステムや窓口ができれば良いと考えているが、クレームや一人の意見を反映させていくことは小規模な考え方になってしまうことから、地域の意見としてまとめていただくと対応しやすい場合が多い。時間はかかるが、何かしたい時に地域の意見としてまとめていただくと行政としても動きやすい。細かい意見についても CIG 推進係にお伝えいただきつつ、より広く意見を頂ける仕組みについては引き続き検討していきたい。区長への手紙については、苦情を申し立てる手段ではなく、区政への提案という形でご意見をいただいているので、地域の方々から頂ける改善へのヒントとして捉えている。マイナスのイメージを持たずに、是非、使っていただきたい。

会長

推進会議に選ばれた公募区民の方は、会議の前に地域の方々とお話しして、その中で出てきた意見を含めて推進会議でご意見いただくなどの工夫をいただくと良いと思う。

委員

フランクな場としては、かっちりとしすぎない意見交換の場である部会が受け皿になっていると思う。そこをどう活用していくかは可能性であると同時に課題であると感じている。また、一般の方とどのように関係を築いていくのが課題であり、みどりを柔軟に活用していくことやイベントに相乗りしていくことを深めることが一つの手段だと思う。

委員

水辺はとても大事だと思っている。部会でも近くのみどりが繋がっていないという話があったが、江東区には縦横に河川が流れているため、それによって繋いでいくことは可能であると思う。水とみどりなどが混ざっている空間があるが、生物多様性もそのような空間から発生していくと思う。水辺からまちを見るためにイベントを開催したりして、皆様が我ごととして考えてくれることが大切だと感じている。そのような考えを持って今後も活動していきたい。

事務局

COP15 を受けて、国家戦略や東京都の地域戦略が作られていることも承知している。その中で、生物多様性のイメージが一点に集中し、特殊な形で理解されてしまっていると感じているため、理解の促進が重要であると思っている。たとえば、みどりの基本計画に基づいたみどりの連続性についても生物多様性に資する取り組みであり、現在も十分に行なっているため、そういったことを発信していくことが必要であると考えている。地域戦略を作るだけでなく、地域戦略を活かしてどのように取り組んでいくのが重要であり、その

効果を含めて考えていく必要があると考えている。

会長

連絡事項について、事務局から願います。

事務局

(意見回答様式、次回推進会議開催連絡)

会長

以上をもって、第3回江東区みどりの基本計画推進会議を終了する。

以上